

# 〔電力取引〕

## 来年度にも取引所設立

編集部

規制産業の代表格だった電力。それがいま、急ピッチで変わりつつあります。卸売りの解禁に加え、大口電力の小売りも解禁されました。9電力の地域割りは崩れ、「群雄割拠」の戦国時代の様相も呈してきました。電力取引所も早ければ2003年度にも生まれ、新しいリスクヘッジビジネスが誕生しそうです。欧米ではすでに先物取引も含め、活発な取引が行われていますが、ようやく日本もキャッチアップへ動き始めました。

### 急速に進む自由化

いま、電力業界では急速に自由化が進んでいます。きっかけとなったのが、1995年に行われた電気事業法の改正でした。

それまで、電力は9電力と電源開発会社が発電を独占していましたが、同年12月1日から卸売りが解禁され、企業は自社で発電した電力を9電力に販売することが可能になったのです。次いで2000年3月21日から大口向けの電力の小売りが解禁されました。2003年度中には中規模工場やスーパーなどにも小売りも認められそうで、2007年度には一般家庭向けの電力販売も自由化される可能性が高まっています。

このような規制緩和を受け、異業種からの参入が相次いで起こりました。卸売り自由化時には鉄鋼メーカー、石油精製会社、紙・パ

ルプ会社などが一斉に発電事業に乗り出し、大口電力の小売りが自由化されると、商社、ガス会社などが販売会社を設立して、販売分野に積極的に進出しました。

いや、そればかりではありません。当の電力会社も、東京電力が仙台市という東北電力管内の有力需要家への電力入札に参加するなど、地域を超えた“仁義なき戦い”も始まっています。

### 今年度中にも答申

こんななか、経済産業省がぶち上げたのが「電力取引所」構想です。電力はほかの商品と異なり、つくり貯めがききません。そこで、発電、販売業者などを集めて取引の場をつくり、相互の融通をスムーズに行おうというものです。

目下、経産相の諮問機関である総合資源エネルギー調査会電気事業分科会で審議しており、今年度中にも答申が行われます。それによって計画が進められますが、早ければ2003年度にも発足する可能性もあります。

ただ、電力取引所では現物取引と先渡し取引は行う予定ですが、先物取引については審議していません。また、取引仕法も時間を決めて1本値で取引する板寄せ法か、1日中、のべつまくなしに取引するザラバ法かも決まっています。それらの課題をクリアして、

初めて「ゴー」となります。

## 活発な欧米の取引

実は電力取引所はなにも日本の専売特許ではありません。いや、自由化で先行している欧米諸国では、すでに活発に行われ、市民権を得ています。

例えば、米国。現物取引はカリフォルニア州などを中心にこれまでも活発な取引が行われてきました。特にインターネットを使った取引が活発で、あの破綻したエンロン社も行っていました。それ以外にもAPX、ナットソースなどいくつもの取引市場の運営会社が出てきています。これらはいわゆる私設市場で、だれでも出資できます。そこで、APXには東京電力、伊藤忠商事など日本勢も出資、ノウハウの取得に努めています。いや、現物取引だけではありません。先物取引も盛んに行われています。

NYMEX(ニューヨークマーカンタイル取引所)では1996年から3種類の電力先物取引を行っています。また、オーストラリア証券取引所でも今年10月、電力先物取引を開始しました。

ヨーロッパでは2000年にドイツでEEXとLPXという2つの電力市場が創設され、スポット、先物の取引を行っていましたが、今年、合併してEEX(ヨーロッパンエクスチェンジ)になりました。大手取引所ユーロネクストも今秋、電力取引所「パワーネクスト」を立ち上げました。このような世界の情勢を見ると、日本の立ち遅れは否めないところです。

## 日本も追い上げは急

ただ、日本も急ピッチで追い上げを開始しました。これまでの規制緩和で、この沃野に目をつけた業種、企業はそれぞれ無数にありましたが、規制の壁に阻まれ、参入したのはごく少数です。しかし、自由化の流れのなか、自由な取引市場設立への動きは今後も活発化していくことは間違いありません。しかも、現物取引が定着するようになれば、欧米に見られるように、そのリスクヘッジ(保険つなぎ)手段として、先物取引が必然的に浮かび上がってきます。

いまのところ、いつ先物取引が行われるかははっきりしません。しかし、時流は急です。2000年、日本総合研究所は「自由化が進められれば市場規模は20兆円から10年以内に100兆円になる」との予測を出しています。そこでは「先物取引など電力取引市場が新たに生まれる」ともみています。

どうなるかはまだ分かりませんが、新しい変化に備え、経営トップはいまから対応などを準備しておく必要があるかもしれません。

電力取引市場のイメージ

